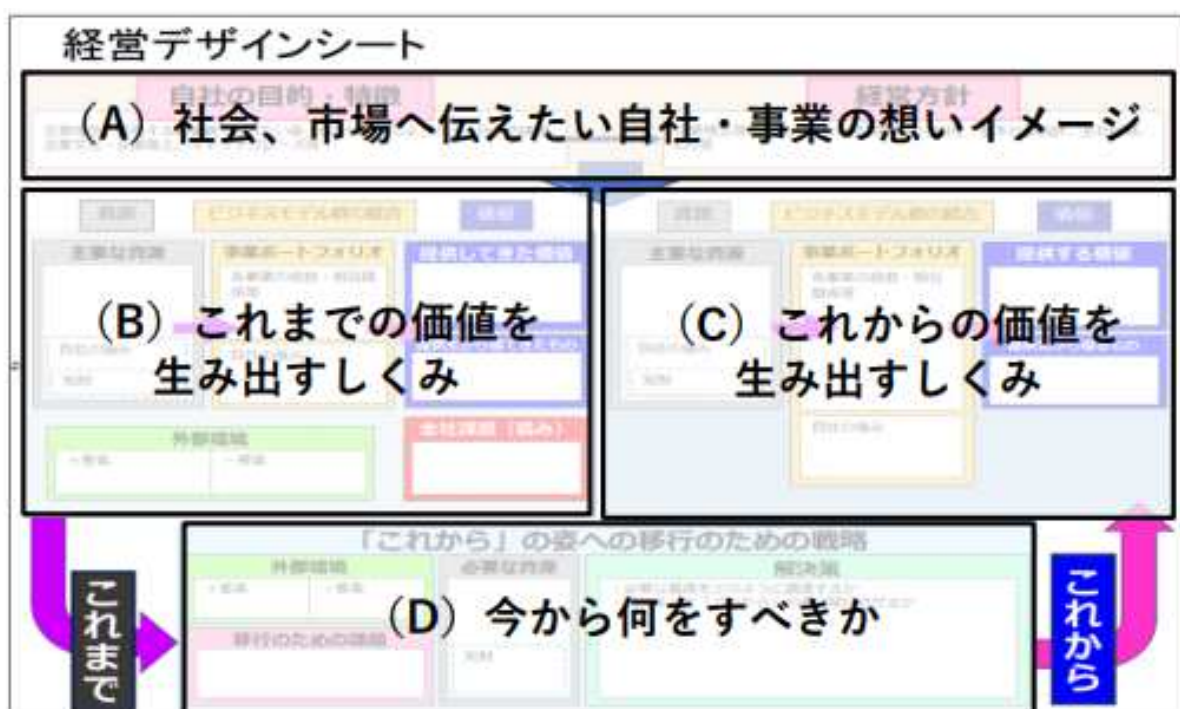


## 「経営デザインシートを活用した」TAMA 地域における支援の事例について

(一社) 首都圏産業化活性協会 コーディネーター 久保 行幸

### 1 内閣府知財戦略事務局が推奨する「経営デザインシート」について

#### ●経営デザインシート



出所：経営デザインシート作成 テキスト入門編 7 ページ 2019 年 3 月

#### ●経営デザインシートとは

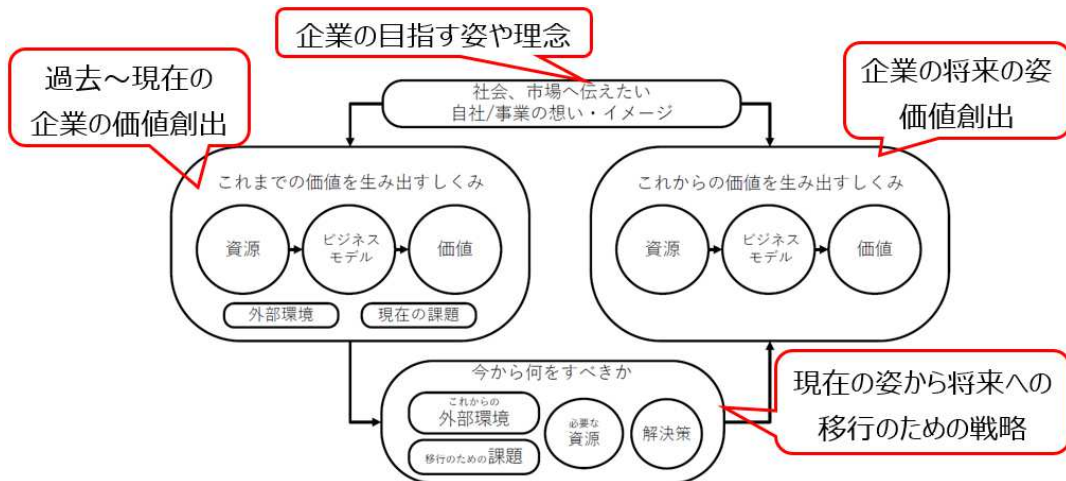
「将来の企業の姿を構想する思考補助ツール」である。

- ・将来に亘り、企業の存続（継続）を可能にすることを目的とするツールである。

#### ●経営デザインシートの特徴

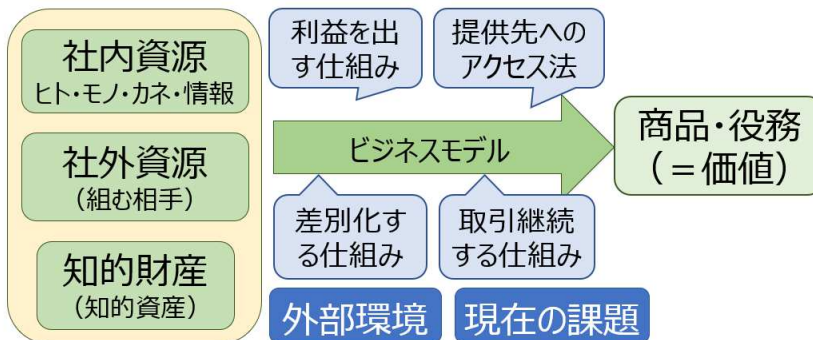
- ・目標（その時点のゴール）が定まる → 社員全員が企業の方向性を理解・把握可能
- ・1枚で会社の将来の構想までを把握できる  
→ 時間軸を意識しながら現在（過去含む）から将来像までの流れを把握可能
- ・今なすべき事項が明確になる
- ・自社の強みを再認識できる
- ・自社のビジネス（儲けのしくみ）の全体像を把握（再認識）できる  
(リソース→ビジネスモデル→価値)  
※リソース、商品/役務の価値、ネットワーク等

●経営デザインシートの構成

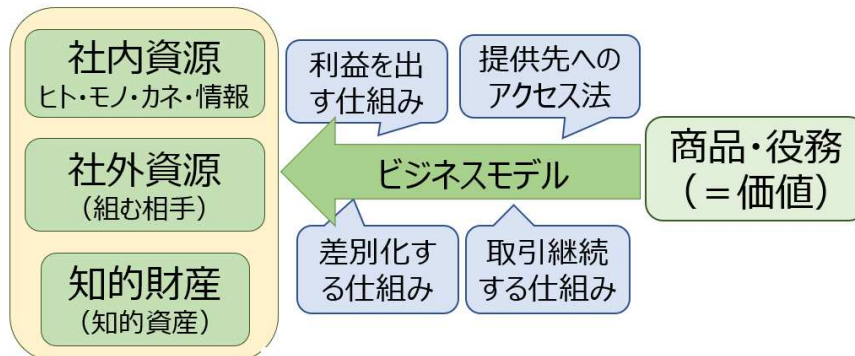


出所：経営デザインシート作成テキスト応用編 3ページ改 2019年3月

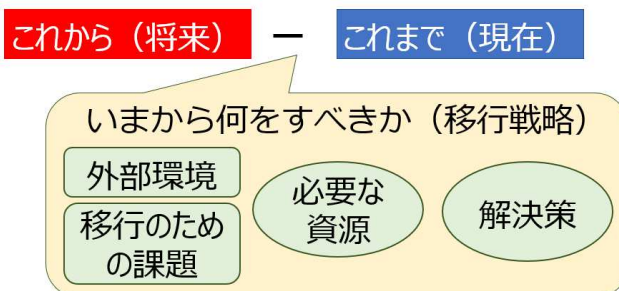
●これまでの価値を生み出すしくみ



●これからの価値を生み出すしくみ



●今から何をすべきか



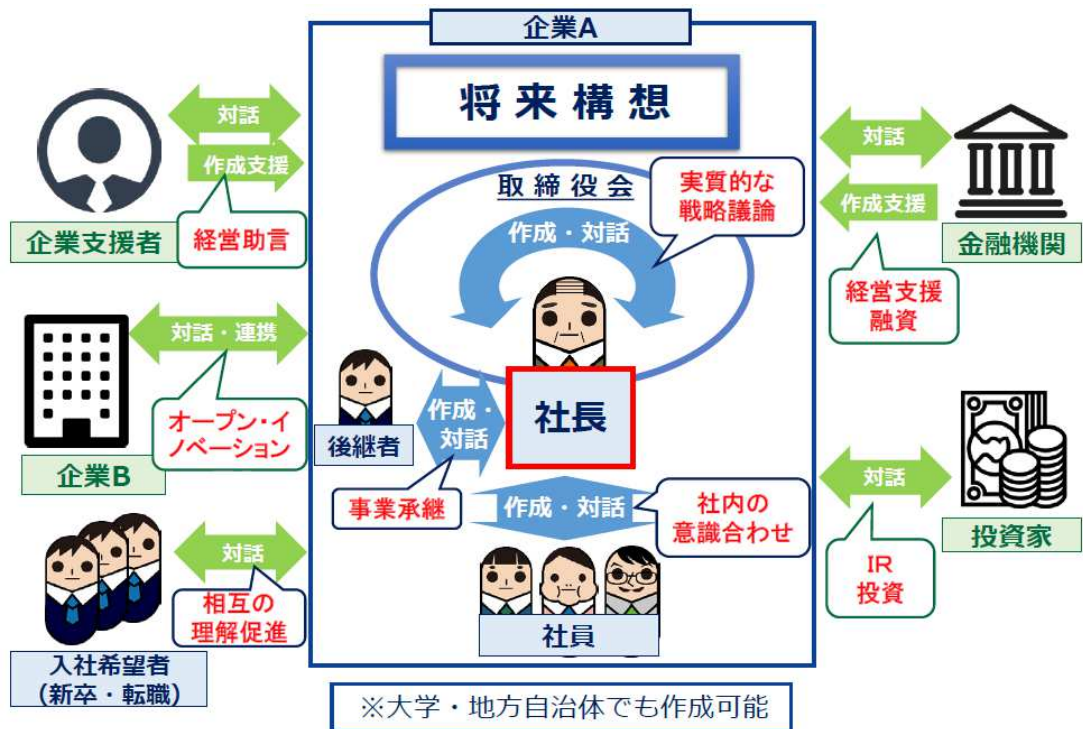
●経営デザインシートの種類

様式には、3種類+簡易版 が用意されている。

3種類の内訳

- ・全社用（複数の事業がある場合）
- ・業務用（個別の事業に使用）
  - ・事業が一つの企業用

●活用シーン



出所：内閣府知的財産戦略ス仲事務局「経営デザインシート」

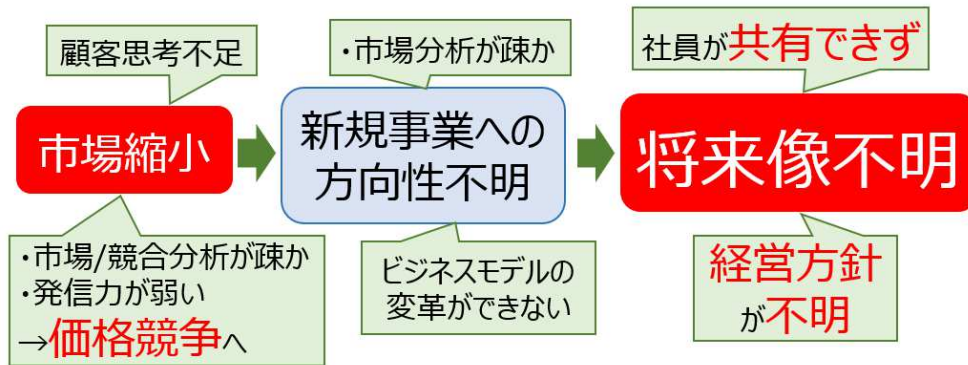
2 2019年度の支援事例の紹介

①2019年度の支援実績（一社）首都圏産業活性化協会の支援事例

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ・株式会社イノウエ        | ・株式会社池田製作所      |
| ・株先会社カナミックネットワーク | ・菊屋浦上商事株式会社     |
| ・久保井塗装株式会社       | ・コーダ電子株式会社      |
| ・株式会社塩           | ・株式会社システム・プロダクツ |
| ・株式会社新東京エンジニアリング | ・株式会社先駆         |
| ・株式会社電子制御国際      | ・株式会社トコウ        |
| ・株式会社バンガードシステムズ  | ・株式会社南デザイン      |
| ・株式会社MEMOテクノス    | ・株式会社レスカ        |

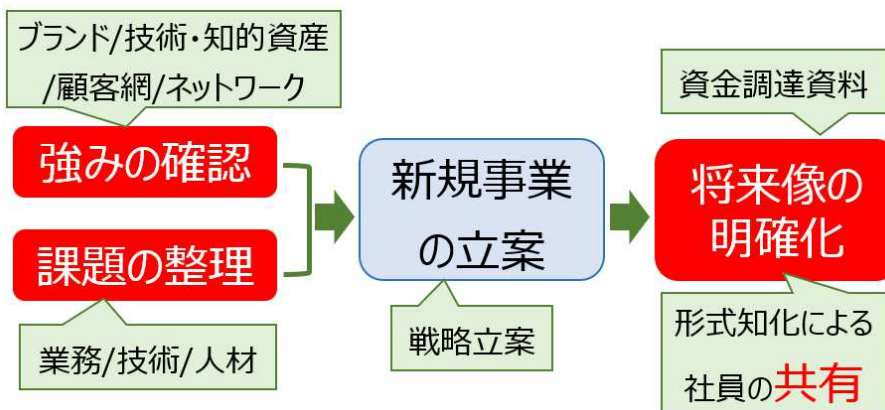
※ 経営デザインシートの詳細は、<https://www.tamaweb.or.jp/archives/4760>

## ②経営デザインシート作成前の課題認識



- ・市場縮小/特定顧客依存からの脱却の対応不足
- ・事業分野の市場減少と競争激化による価格戦争
- ・主力事業の市場の減少予想
- ・市場の減少に対応するため、新事業への進出をどのように進めていくか
- ・顧客に提供する価値や資源の視点が疎かになっている
- ・過去を踏まえて今後の成長分野の検討
- ・市場分析、ヒト・モノ・カネ・組織への対応不足
- ・将来事業の構想の必要性
- ・新規事業の方向性が不明
- ・ビジネスモデルの変革の確認
- ・新商品の検討時間がなかった
- ・会社の強みや将来事業への発信力の弱さ
- ・知財保有/活用の社内外への説明不足
- ・自社の貢献、技術や人材の課題の検討
- ・技術・ノウハウの承継難/承継が不十分
- ・社員等の潜在情報の形式知化へ
- ・経営方針が希薄
- ・自社の将来像が不明瞭で社員全員が共有できず

## ③経営デザインシートの作成の成果・今後の活用



- ・ 自社の将来像（必要な開発、人材）の明確化
- ・ 将来事業への柔軟な発想力の必要性を実感
- ・ 目指すべき方向性の明確化
- ・ 経営デザインシートが羅針盤となる
- ・ 長期的な取り組みの必要性を実感
- ・ 行動指針の把握
- ・ 新サービス検討時の顧客目線/価値の認識の重要性
- ・ ビジネスモデルの明確化
- ・ 自社ブランドで価値を再確認する
- ・ 強み（技術、顧客網、社外ネットワーク含む）を再確認
- ・ 強みを活かした新規事業への取り組みと立案
- ・ 強み/顧客価値/新規事業/ビジョン/将来像の社員との共有
- ・ 課題（技術含む）の整理と認識
- ・ 業務改善のポイントと見直しの明確化
- ・ 具体的なアクションプラン/戦略の立案（明確化）
- ・ 自社の知的資産を認識
- ・ マニュアル化による技術・ノウハウを承継
- ・ 人材の重要性と教育への気づきを得た
- ・ 社員教育の機会増へ
- ・ 必要な連携先や人材像を明確化した
- ・ 資金調達資料として活用する

## 問い合わせ先

（一社）首都圏産業活性化協会 コーディネーター 久保行幸

電話：042-631-1140 090-6193-5670

メールアドレス：mykubo8679@ae.auone-net.jp

URL：<http://www.tamaweb.or.jp>

以上